

ビットホール®発生を防ぎ、正しく吸入できるためのチェックリスト

レスピマット (スピリーバ・スピオルト)

薬剤準備	①薬剤の準備	<input type="checkbox"/> 安全止めを押しながら、透明ケースをはずしている <input type="checkbox"/> カートリッジを奥までしっかりと押し込めている <input type="checkbox"/> 透明ケースを忘れずにはめ戻している		
	吸入前	<input type="checkbox"/> 薬剤セット時には、デバイスを垂直に保持する <input type="checkbox"/> カウンターの目盛りを確認する <input type="checkbox"/> 透明ケースをカチツと音がするまで180度回している <input type="checkbox"/> 途中で戻したり、中途半端に回して、無駄な噴霧が起きていない <input type="checkbox"/> キャップを開けたまま、噴射口を覗いて回していない (噴射時に目にかかる危険性あり) <input type="checkbox"/> 噴射ボタンを押したまま、回していない (180度の手前で引っ掛かり回せなくなる) <input type="checkbox"/> デバイスは横にせず、キャップを上にした状態で回している <input type="checkbox"/> キャップを開けられない	★1 ★2 ★4 ★4 ★1	
		②息吐き	<input type="checkbox"/> 吸入前に、苦しくならない程度に息を吐きだしている	
吸入時	③吸入	<input type="checkbox"/> 通気孔 (口) を唇でふさいでいない <input type="checkbox"/> マウスピース (吸入口) に口をあてる前から吸い始めていない <input type="checkbox"/> デバイスを水平に保って吸入している <input type="checkbox"/> 薬剤噴射時に、呼吸同調が出来ている <input type="checkbox"/> 薬剤をゆっくりと深く吸入できている <input type="checkbox"/> 薬剤噴射方向が不安定でない <input type="checkbox"/> 吸入時に、口角が開いたままになっていない	★3 ★5 ★5 ★6	
		④息止め	<input type="checkbox"/> 吸入直後は、口を閉じて5秒程度の息止めが出来ている	★7
		⑤息吐き		
吸入後	⑥後片付け	<input type="checkbox"/> 吸入後に、キャップをしっかりと閉めている		
	⑦うがい	<input type="checkbox"/> 吸入後に、しっかりとうがいをしている (口喝防止になる)	★8	

8つの原則	
★1	デバイスの保持・・・ デバイスを保持する手を決めて、筒型の吸入薬は薬剤装填時に垂直に保持する。
★2	カウンターを確認・・・ カウンターがあるときは、指差し確認する。
★3	通気口を確認・・・ 通気口の位置を確認し、手指や口唇で無意識にふさがない。
★4	薬剤装填操作・・・ ボタン、レバー、フタは最後まで操作を完了させて、その後、操作した手指を離す。
★5	吸い方・・・ SMI 製剤の場合は、ゆっくりと深く吸入する。
★6	口角・・・ 吸入時に口角が開いていないようにする。
★7	息止め・・・ 息止めは片手で指折り5つを目安に数秒程度。
★8	うがい・・・ うがいをする

(一社)吸入療法アカデミーホームページ、患者吸入指導テキスト(協和企画)より引用

岡谷吸入指導連携((一社)吸入療法アカデミー監修) 禁引用・転載 2024.12.1作成